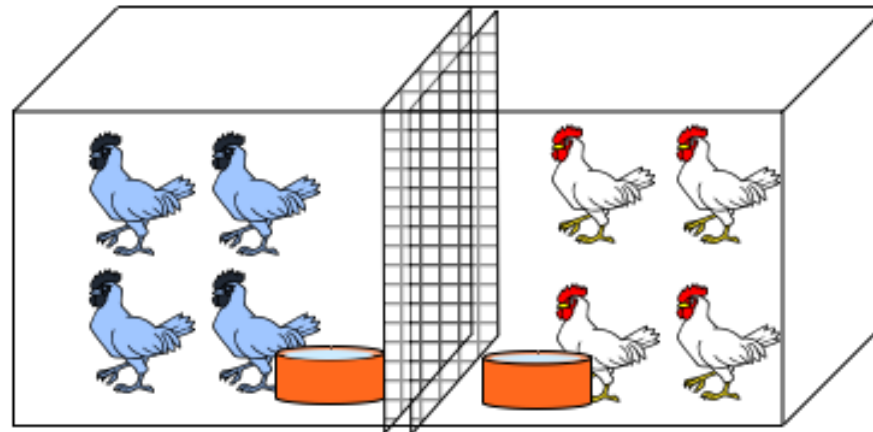
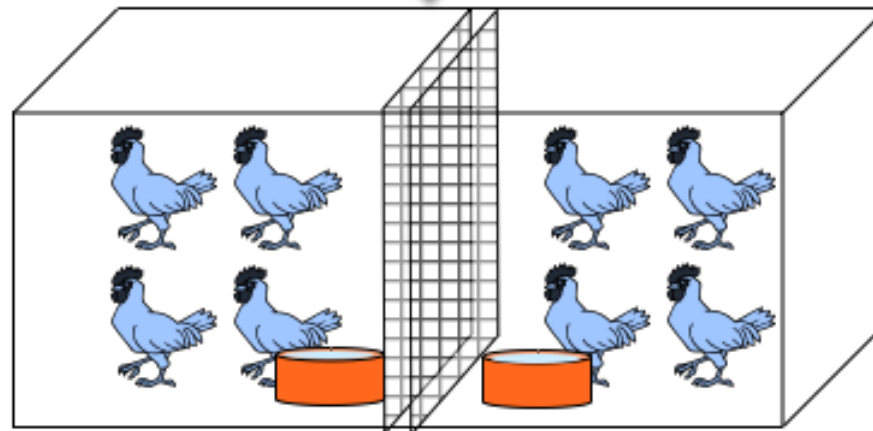


鶏でのウイルス伝播性 ケージ越しの接触



ウイルス接種から14日後



低病原性鳥インフルエンザへの警戒も重要

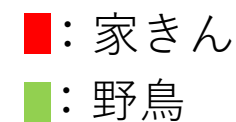
- ❖ 低病原性鳥インフルエンザウイルスから高病原性鳥インフルエンザウイルスへの変異による発生は、近年もヨーロッパ、北米で起こっている
- ❖ 低病原性鳥インフルエンザウイルスに感染した鶏は症状を示すことがほとんどないため、発見が遅れ、地域での続発を招く可能性が高い。
 - ◆ 産卵数低下が、数少ない臨床症状
 - ◆ 平常時の定点モニタリングは低病原性鳥インフルエンザの摘発に重要

2004年以降国内で発生した鳥インフルエンザウイルス

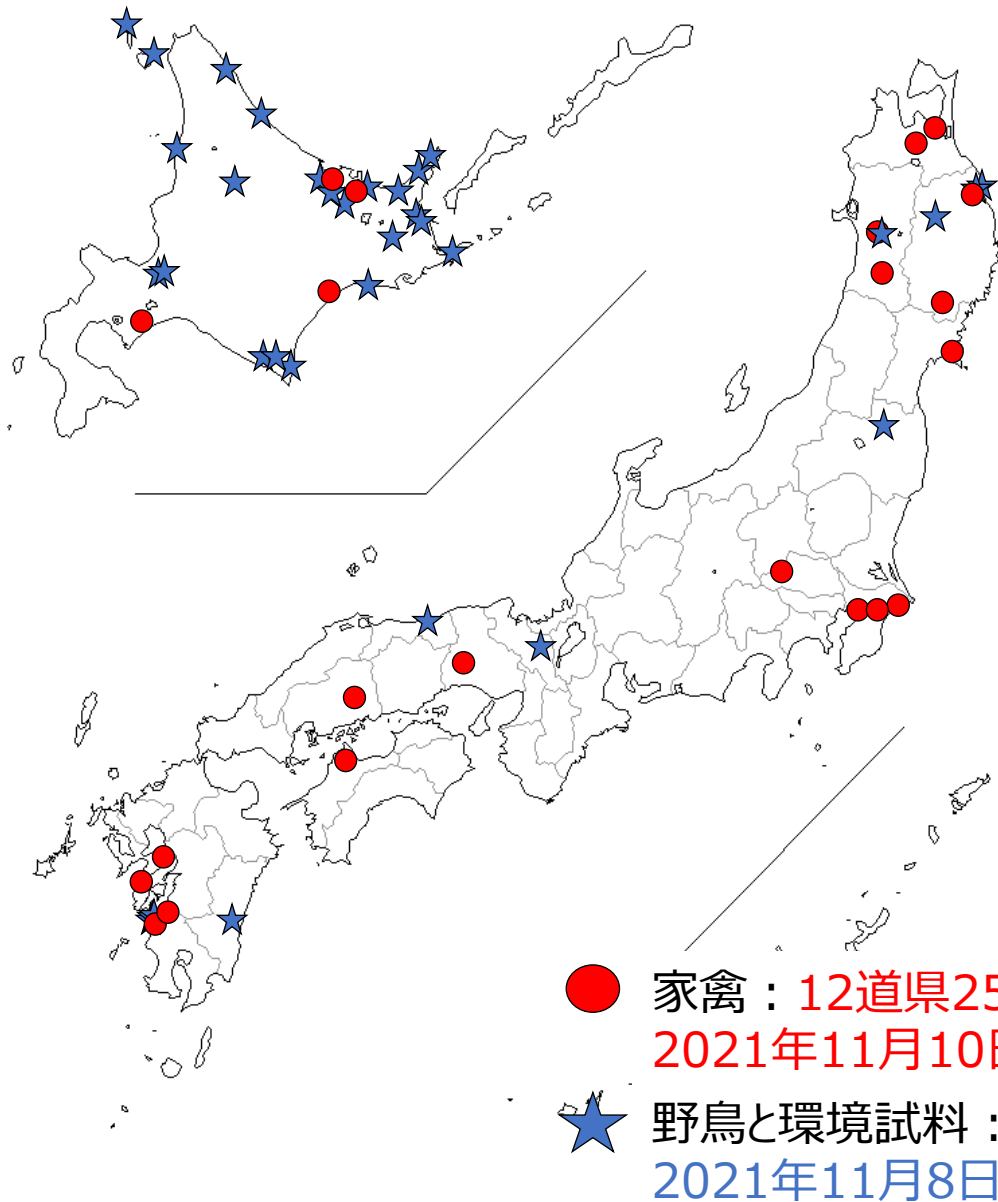
	発生が確認された都道府県	発生農場数	亜型
2004年1月～3月	山口、大分、京都 (3～4月京都・大阪 ハシブトガラス)	4	H5N1
2005年6月～12月*	茨城、埼玉	41	H5N2
2007年1月～2月	宮崎、岡山 (1月熊本 クマタカ)	4	H5N1
2008年4月～5月	秋田、青森、北海道 (野鳥でのみ検出)	—	H5N1
2009年2月～3月*	愛知 (3例ウイルス分離、4例抗体陽性)	7	H7N6
2010年11月～2011年3月	島根、宮崎、愛知、三重、大分、鹿児島、奈良、和歌山、千葉	24	H5N1
2014年4月	熊本	1	H5N8
2014年12月～2015年1月	宮崎、岡山、山口、佐賀 (11月～1月鹿児島、千葉 野鳥)	5	H5N8
2016年11月～2017年3月	青森、新潟、北海道、宮崎、熊本、岐阜、佐賀、宮城、千葉 (11月～2月22都道府県)		H5N6
2018年1月	香川	1	H5N6
2020年11月～2021年3月	18県	52	H5N8
2021年11月～2022年5月	12道県	2	H5N8
		23	H5N1

*:改正家伝法では、低病原性鳥インフルエンザ(LPAI)

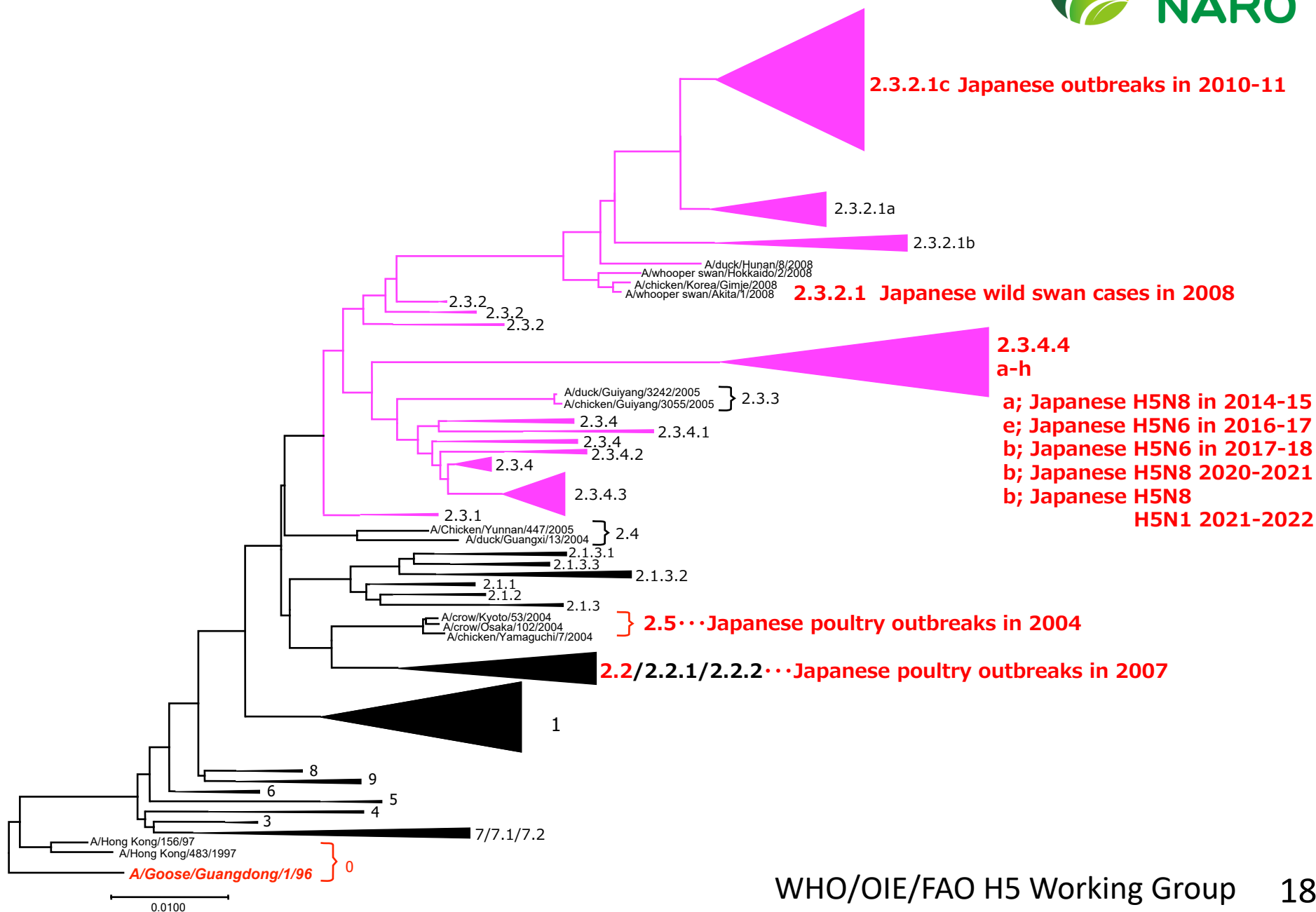
農研機構
NARO



2021年度国内におけるH5HPAI発生状況



ユーラシア型H5亜型HPAIV HA遺伝子の多様性（系統樹）



2021年シーズン家禽分離H5HPAIV HA遺伝子系統解析

